

## 医学用語シソーラス【第 10 版】 改訂の要旨

医学用語シソーラス第 10 版作成にあたっては、従来の基本方針を踏襲し、米国国立医学図書館(National Library of Medicine)の統制用語集である Medical Subject Headings (以下 MeSH)2022 年版に準拠して改訂を行いました。

第 10 版における主な改訂点は、第 9 版で準拠した MeSH2018 年版から今回準拠した MeSH2022 年版までの変更の反映、シソーラス作成の際の参考資料である各種の用語集などで用いられている用語表記の変更の反映、また、利用者の方からのご意見などを検討し、用語の新設と削除、表記の変更、カテゴリーの変更を行いました。この結果、33,165 語を収録し、第 9 版の 31,761 語から 1,404 語の増加となりました。

なお、第 8 版からは冊子体のシソーラスは発行せず、医中誌 Web のシソーラスブラウザにて、これまで冊子体に収載してきたシソーラスの情報を掲載しています。

以下に第 10 版における MeSH2022 年版対応の詳細、医中誌で独自に収載しているシソーラス語の内訳やカテゴリー構築、および今回の改訂の具体的な内容を記載します。

### 1. MeSH 2022 年版への対応

- 1) MeSH2019～22 年版の新設語・変更語・削除語に対応しました。
- 2) MeSH2022 年版の Tree Number を基にカテゴリー構造を構築しました。
- 3) MeSH2022 年版の A～F カテゴリーは、原則として全て収載しています。  
MeSH2022 年版収録の 30,194 語うち、29,456 語を収録(97.5%)。
- 4) MeSH2022 年版のうち収載していない 738 語の内訳は以下の通りです。
  - ・Publication Descriptor 185 語(MeSH V カテゴリー)  
「出版目録」(Catalog, Publisher)、「図書販売目録」(Catalog, Bookseller)は、MeSH にてカテゴリー変更が行われ、LカテゴリーからVカテゴリーになったが、例外的に採用しました。
  - ・Check Tag Only 2 語(Female, Male)
  - ・国内医学では必要性が低いと判断した用語 537 語  
アメリカ独自の制度や機関 (例:眼科保険)  
国名や地域名以外の地名 (例:ウイスコンシン州)  
その他 (例:土星, 退役軍人の健康)

5) ディスクリプタの表記が MeSH の定義に沿い、意味を正しく表しているかどうか見直しを行い、必要に応じてより適切な用語に変更しました。

(例) 障害者の子供 → 障害のある親を持つ子供

(MeSH の Descriptor は“Child of Impaired Parents”)

6) 生物名の表記を見直し、寄生虫などの無脊椎動物は、日本寄生虫学会の『新寄生虫和名表』を参考に、和名のあるものはこれに準じました。また、ウイルスは、属(genus)も種(species)も「～ウイルス」という表記では違いが分かりにくいとため、属にあたるものは「～ウイルス属」の表記に変更しました。

(例) *Leishmania tropica* → 熱帯リーシュマニア

(例) エンテロウイルス → エンテロウイルス属

## 2. 医中誌独自収載語

1) MeSH とは別に医中誌独自で収載している用語として以下のものがあります。

- ・ 国内で承認されている国際一般名(INN)が登録された医薬品
- ・ 『第十八改正日本薬局方』、『医療用医薬品集 2022 年版』に収載されている国際一般名(INN)以外の医薬品
- ・ 生薬（『日本薬局方』、『日本薬局方外生薬規格』より）、漢方薬（『医療用医薬品集』より）
- ・ 看護、介護に関する用語
- ・ 日本の都道府県、政令指定都市、政府機関、公的組織
- ・ 医中誌フリーキーワードのうち、必要性が高いと判断し、シソーラス用語に昇格したもの  
今回の改訂では特に、骨格筋\*(1)と頻度の高い疾患名\*(2)を昇格・新設しました。

### \* (1) 骨格筋

フリーキーワードにはカテゴリコードが無いとため、骨格筋をフリーキーワードも含めて網羅的に検索することが難しいとのご指摘が利用者の方よりあり、必要と思われる主な骨格筋をシソーラス用語として新設しました。9 版ではフリーキーワードだったものの他、他のディスクリプタの同義語から新設したもの、全く新しく新設したものなど 92 語新設しました。

例:「骨盤底筋」「膝窩筋」「ヒラメ筋」

### \* (2) 疾患名

フリーキーワードのうち索引頻度が 1,000 件以上ある疾患名について、各種の資料を参照し、必要性を再検討した上、83 語新設しました。

例:「ロコモティブシンドローム」「食物依存性運動誘発アナフィラキシー」「家族内感染」

2) MeSHにて Entry Term で同義語として扱われている用語でも、必要に応じて別のディスクリプタとして記載しています。

(例)呼吸不全 → 呼吸抑制 (“Respiratory Insufficiency”の Entry Term” Respiratory Depression”)

### 3. 医中誌独自カテゴリー

#### 1) 薬効別カテゴリー

MeSH で各薬物に付加されている “Pharmacologic Action”(以下 PA)の情報を基に、薬効別カテゴリーを構築しています。これに加えて『医療用医薬品集』を参考に、不足している薬効を補充し、薬効別カテゴリーに位置づけました。これにより、MeSH2022 の PA(2021 年 12 月ダウンロード分)以外に、医薬品用語 2,292 語に対して 3,269 の薬効を追加しました。

(例) Tocilizumab に「抗リウマチ剤」のカテゴリーも追加

#### 2) 生薬のカテゴリー

医中誌独自収録の生薬名を、「植物性生薬」、「動物性生薬」、「鉱物性生薬」に分類してその下位とし、また「植物性生薬」の場合には、該当する植物名の下位にも位置づけています。

(例) 葛根 → クズ属 (Pueraria) の下位語に

### 4. 日本医学会『医学用語辞典』収録の和訳語への対応

第 8 版、第 9 版に引き続き、日本医学会『医学用語辞典』で推奨する用語表記との整合性を、カテゴリーA(解剖学)、B(生物)、C(疾患)、D(化学物質及び薬物)、E(分析、診断、治療の技術と機器)、F(精神医学及び心理学)、G(現象と過程)を中心に確認し、原則としてこれに準拠した表記に変更しました。

(例) 生殖腺芽細胞腫 → 性腺芽腫  
佐剤 → 製剤用アジュバント

これらの改訂の結果、第 10 版におけるシソーラス語数、および変更種類別の語数は下記のとおりとなりました。( )内は医中誌独自収録語数です。

総ディスクリプタ数	33,165 語 (3,637 語)
新設	1,424 語 (376 語)
ディスクリプタ表記変更	775 語 (8 語)
削除	20 語 (3 語)